

令和6年度愛知県医療的ケア児等コーディネーター養成研修 実施要領

1 研修の目的

医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律（令和3年法律第81号）第2条第2項に基づく「医療的ケア児」や重症心身障害児者（以下、「医療的ケア児等」という。）が地域で安心して暮らしていけるよう、各種サービスや支援を総合調整する「医療的ケア児等コーディネーター」を養成するため、医療的ケア等に関する専門知識や支援のスキルを習得するための研修を実施する。

2 実施主体

専門性の高い最新の知識・見識を持ち、研修を実施する能力のある法人。

3 受講対象者

県内市町村（名古屋市を除く。）から本研修受講者として推薦のあった相談支援専門員、保健師、訪問看護師等のほか、県所管施設職員等、今後地域において、保健、医療、福祉、子育て、教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児とその家族に対しサービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケア児等とその家族をつなぐ、医療的ケア児等コーディネーターとしての役割を担う予定のある者とする。

4 研修内容

講義と演習により、①医療的ケア児等に対する専門的な知識と経験に基づいて、支援に関わる関係機関との連携（多職種連携）を図り、とりわけ本人の健康を維持しつつ、生活の場に多職種が包括的に関わり続けることのできる生活支援システム構築のためのキーパーソンとしての役割を理解する。②医療的ケア児等コーディネーターとして必要な知識や技術の習得等を学ぶ。

カリキュラムは別紙「医療的ケア児等コーディネーター養成研修日程表」をもとに実施する。

5 研修講師

医療的ケア児等の障害特性や支援技術に関する知識を有する者で、職歴、資格、実務経験等に照らし適切な人材を実施主体が選定する。

6 研修日程及び会場

実施主体が別途通知する。

7 受講申込み

実施主体が別途通知する。

8 修了の認定

(1) 全科目を履修し修了の認定を行った者に対して、別紙様式により修了証書を交付する。

- (2) 医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者について、修了証書番号、修了年月日、氏名、連絡先等必要事項を記載した名簿を作成し、個人情報として十分な注意を払ったうえで管理する。

医療的ケア児等コーディネーター養成研修日程表

	科目名	時間数	内容
初日 午前	1. コーディネーターの役割	40分	① 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律制定の背景 ② 医療的ケア児等コーディネーターの役割と専門性
	2. ICFを活用した支援の意義・必要性	60分	① 医療的ケア児等らを支援する視点 ② ICFとは ③ 医療的ケア児等におけるICFの視点 ④ ICFの使用法
	3. 児の状態像（重症度の高い医療的ケア児を中心に）	90分	① 医療的ケア児と重症心身障害児の違い ② 超重症児、準超重症児の状態像 ③ 動く医療的ケア児とその特徴 ④ 医療的ケア児の状態像を知るための留意点 ⑤ 在宅で実施している医療的ケアの種類と頻度 ⑥ ライフステージに伴う医療的ケア内容の変化 ⑦ 重症児の合併症
初日 午後	4. 家族の心情の理解 5. 家族への支援	60分	① 多くの家族が抱える課題とニーズ ② 家族構成から見える状況 ③ 児の年齢と家族の状況 ④ 主たる養育者（母）のレジリエンスと関連要因 ⑤ 母親のレジリエンスと子育て力の関係性 ⑥ 障害受容 ⑦ 家族への支援
	6. 包括的な支援に向けた本人、家族に必要な支援と制度	80分	① 医療 ② 障害福祉 ③ 保健 ④ 教育 ⑤ 子育て支援など ⑥ その他（当該地域における支援事業）
	7. 地域支援体制整備の要点	80分	① 個別支援から始まる地域支援体制整備 ② 個別支援から地域を概観する ③ 退院調整会議に参画し医療機関の連携状況を知る ④ 支援機関の調整から地域を概観する
2日目 午前	8. 児の特徴を理解した発達支援の基本・生活体験と遊び	70分	① 子どもの定型発達 ② 感覚と発達の関係 ③ 感覚刺激（触覚・固有受容覚・前庭覚） ④ 感覚の発達を促す具体策
	9. 医療的ケア児への安全管理及びリスクコミュニケーション	70分	① 用語の理解 ② 生活圏内での安全管理体制の構築 ③ 多職種連携の促進 ④ リスクコミュニケーションの必要性和意義 ⑤ リスクコミュニケーション実践の要点
	10. 各都道府県内の医療的ケア児への教育の現状と課題	60分	① 県内の就学、就労支援の現状 ② 肢体不自由児、知的障害児特別支援小中高等学校、普通小中学校における医療的ケアの現状 ③ 地域との連携の現状と今後に期待すること

	科目名	時間数	内容
2日目 午後	11. 都道府県における小児医療体制の現状と課題	60分	① 当該地域における小児医療連携体制の現状 ② 医師間の連携の現状 ③ 当該地域における移行期医療の現状
	12. コーディネーターアセスメントの視点	100分	① 医療的ケア児等コーディネーターの基本視座 ② 医療的ケア児等コーディネーターの基本的なアセスメントの視点 I. ICFを活用し児の全体像をとらえる II. 本人、家族、環境をとらえ支援の方向性を検討する III. 発育と発達 IV. 保護者の子育て力 V. 個別支援体制と児と家族に必要なチーミング
	演習オリエンテーション	40分	事務局
3日目	13. 演習（計画作成）	7時間	事前課題 テキスト各論を読み演習に参加すること架空事例をもとにした計画作成の演習 ① 計画作成のポイント 演習に向けたサービス等利用計画作成のポイントについて説明し、演習に入る
4日目	14. 演習（事例検討）	7時間	事例をもとに、意見交換（グループディスカッション）・スーパーバイザーによる計画作成の指導

(様式)

〇〇〇〇第〇〇-〇〇号

修了証書

申込市町村 / 県所管施設名

修了者氏名 様

〇〇年〇月〇日生

上記の者は令和 年度愛知県医療的ケア
見等コーディネーター養成研修を修了した
ことを証明します

令和 年 月 日

愛知県知事

印